

50Gbps超の大容量リアルタイムデータマルチキャスト配信実験をJGN上で実施 高速ソフトウェアルーティングエンジン「Kamuee」の実用化を検証

研究テーマ

次世代ネットワークを利用した高速ソフトウェアルーターの研究

研究実施機関

NTTコミュニケーションズ株式会社

研究の概要

NTTコミュニケーションズ株式会社が開発したPCベースで動作する高速ソフトウェアルーティングエンジン「Kamuee」をNICT総合テストベッド上で稼働させ、機能・性能を検証。さっぽろ雪まつりの映像配信実証実験（2019年、2020年）では、他社製品が混在する実環境に「Kamuee」を組み込み、実用化にむけた検証を実施。

NICT総合テストベッドを活用した研究成果

2020年2月の映像配信実証実験での検証

2本のフル解像度8K非圧縮ストリームによる立体映像配信において、L(左)チャンネル映像の配信経路上にKamueeをコアルーターとして組み込み、一連の実験とデモンストレーションを実施。

実験環境はJGNの基幹ネットワークを構成するルーター群をはじめ、数多くのネットワーク機器が混在する環境となっており、実運用環境に非常に近いものであったが、**50Gbps超の大容量リアルタイムデータマルチキャスト配信**において安定した動作で実験を成功させ、「Kamuee」が実運用可能であることが実証された。

2020年12月には、「Kamuee」をベースとした商用サービスとして、株式会社創夢により**高速で安価なソフトウェアルーター「Eenow」**の提供が開始された。

